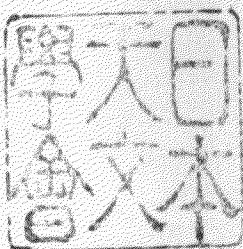


THE ASTRONOMICAL HERALD

天文月報

第 47 卷



1954

(昭和 29 年)

日本天文學會

總 目 次

各地の天文臺と望遠鏡の動靜	下 保 茂	3,21
アメリカ滯在記	畠 中 武 夫	7
國際地球観測年について	宮 地 政 司	19
私の滞英記	末 元 善 三 郎	24
故ハッブル博士の業績	鍋 木 政 岐	42
ハッブル博士寸描	藤 田 良 雄	43
312人が見た1953年11月11日夜の大流星	富 田 弘 一 郎	44
食連星の話	細 川 良 正	51
在パリ2年間—Chazy先生の恩出を中心に	浦 太 郎	57
乗鞍雜記	清 水 一 郎	67
74吋反射望遠鏡の計畫について	藤 田 良 雄	70
1953年の彗星	廣瀬 秀 雄	72
神戸の金星經過観測記念碑について		73
火星の大接近を迎えて	村 山 定 男	83
小惑星『Tokyo』發見のいきさつ	早乙女 清房(談)	102
暦表時—その由來、内容、意味、應用について	宮 地 政 司	115
臺灣の天文事情	蔡 章 獻	118
月の位置の寫眞觀測	廣瀬 秀 雄	131
1955年VI月20日の皆既日食觀測計畫		147
1954年VI月30日の皆既日食の概況		149
天文學文献抄錄誌あれこれ	中 野 三 郎	151
複屈折干涉フィルター—リオのフィルターその他について	西 恵 三	163
閃光星—發見、觀測とフレアの起る限界	下 保 茂	169

〔天文學を語る〕

天體分光學	藤田 良雄	11
子午線天文學	中野 三郎	27
内部モデルとモデル大氣	一柳 潤一	35
緯度觀測 筆の赴くままで	服部 忠彦	59
電波天文學の進歩をたどつて	畠中 武夫	74
測地學あれこれ	奥田 豊三	90
天文學史	藪内 清	105
少しばかり天文學を語る	荒木 俊馬	123
天文學と共に	宮本正太郎	139
變光星の舞臺は廻る	古畑 正秋	154
太陽物理學	野附 誠夫	171
恒星天文學の足跡をたずねる	鍋木 政岐	185

〔年會記事〕

春季年會講演アブストラクト	99	
秋季年會講演アブストラクト	179	
年會シンポジウム アブストラクト		
緯度觀測と天文常數	服部 忠彦	103
連星系統計の問題	石田 五郎	183
小惑星の要素について	竹内 端夫	183
高分解能分光	末元善三郎	104
太陽電波特にバーストについて	畠中 武夫	104
太陽光球の溫度分布について	一柳 潤一	183
星の内部構造における諸問題	須田 和男	184
吸収線の散乱機構について	上野 季夫	184
昭和28年度會務および會計報告		110

〔海外論文紹介〕

最近の統計天文學の諸研究	高瀬文志郎	8
電子望遠鏡	土屋 淳	40
トロヤ群の非周期運動について	青木 信仰	55
B型星と渦状構造	安田 春雄	87
Radio Source とその對應天體	土屋 淳	120
コロナと黃道光	田鍋 浩義	121
太陽系の起源にかんする隕石理論	島村福太郎	136
電波による銀河系の渦状構造の研究		
	守山 史生	152
馴者座 δ 星の變光について	中村 強	189

〔書評・新刊紹介〕

中野猿人著 球面天文學	(池田 徹郎)	6
鈴木敬信編 天體寫眞集	(廣瀬 秀雄)	26
島村福太郎著 天文學史	(廣瀬 秀雄)	26
佐藤隆夫著 天文氣象學概論	(廣瀬 秀雄)	138
中野繁編著 標準星圖	(古畑 正秋)	138

〔雑 報〕

ハッブル死去		26
重力加速度 g の決定に関する新方式		26
馴者座 ϵ 星の食についての新説		38
JY 無線報時 2.5 Mc の發射開始		38
ボッダム天文臺 2米反射鏡		54
太陽活動の新周期始まる?		54
明るくなる Pons Brooks彗星		54
電波観測から得られた新しい銀河系モデル		89

1953年の彗星追記		106
星雲の距離目盛さらに改訂か?		106
局部超銀河系の説		107
新型の不規則變光星		108
超新星 2つ		122
Kresak 彗星發見		122
Haro 新星		122
假想惑星超冥王星の推定軌道要素		122
新彗星 Vozarova		134
電波天文學討論會		134

〔天文グループ〕

まえがき(15) 川崎天文同好會(31) 旭川天文同好會		
と旭川天文臺(47) 科學博物館に集う(63) 岐阜天文		
協會(79) 静岡天文研究會(95) 紀伊天文同好會(111)		
名古屋天文同好會(127) アマチュア・テレスコープ・		
クラブ(143) 豊橋天文同好會(159) 福岡天文學會		
(175) 富山天文同好會(191)		

〔偏光フィルター〕

20, 46, 71, 86, 109, 112, 126, 135, 158, 168, 182		
---------------------------------------------------	--	--

〔會員觀測報告〕

太陽黒點觀測報告(1953年VII月—1954年VI月)		78, 190
掩蔽觀測報告(1953年)		94

〔天 象 櫃〕

16, 32, 48, 64, 80, 96, 112, 128, 144, 160, 176,		
192		

〔表 紙 寫 真〕

第 1 號	火星寫眞 (ラモントハッセイ天文臺の 27 時鏡による)
第 2 號	新装の東京天文臺プラッシャー天體寫眞儀
第 3 號	1953 年 XI 月 11 日の大流星 (東京天文臺撮影)
第 4 號	大熊座 δ^1 星のスペクトル (マクドナルド天文臺撮影)
第 5 號	乗鞍コロナ觀測所のコロナグラフ接眼部
第 6 號	新しい距離測定器 Geodimeter
第 7 號	沃度蒸氣を通して太陽光を撮つた高分解能スペクトル
第 8 號	ケンタウルス A の電波源と同定された NGC 5128 (パロマー 200 時撮影)
第 9 號	マルコヴィツの“月離カメラ”撮影部
第 10 號	1954 年 VI 月 30 日の皆既日食のコロナ (Dornberg 氏撮影)
第 11 號	東京天文臺に新設の天體電波觀測用アンテナ群
第 12 號	三廳で受信したハワイ標準電波 WWVH 15 Mc の秒信號のオシログラフ